

## イタリア語教材推薦リスト

内田 健一

坂本鉄男 『現代イタリア文法(新装版)』、白水社、2009年、4410円

イタリア語の文法を網羅し、用例が豊富ですので、本格的に勉強したい人には欠かせません。和文・欧文索引や動詞変化表も付いています。

長神悟 『イタリア語のABC(CD付・新装版)』、白水社、2003年、2730円

イタリア語の文法の要点を簡潔に解説していますので、初学者が一通りの勉強をするのに適しています。単語と例文にはカタカナ表記のルビが振られ、CDも付いています。

奥野拓哉、鈴木信吾 『書くイタリア語』、大学書林、1985年、4200円

イタリア語で考え、正しく表現するという能動的な語学能力を養うのに役立ちます。実用的な書簡文例も付いています。

小林惺 『イタリア文解読法』、大学書林、2001年、8925円

現代作家の文例を用いつつ、語の形成や文の構造を非常に詳しく分析した一冊です。イタリア語の微妙なニュアンスまで理解したい人に向いています。

ジュゼッペ・パトータ 『イタリア語の起源—歴史文法入門—』 岩倉具忠(監修)、橋本勝雄(訳)、京都大学学術出版会、2007年、2940円

ラテン語からイタリア語への変遷を紹介しています。人文社会学研究の基礎としてイタリア語を深く理解したい人にとって貴重な一冊です。

郡史郎 『はじめてのイタリア語』、講談社現代新書、1998年、735円

興味深いエピソードを交えながらイタリア語の文法を説明しています。一通り勉強した人にも、復習用として役立つでしょう。

ピランデッロ 『エンリーコ四世』 小林勝(訳註)、大学書林、1989年、4725円

ノーベル文学賞作家の劇の対訳(註付き)です。読解能力を向上させたい人に適した一冊です。

ヴァザーリ 『ジョット／ブルネッレスキ』 亀崎勝(訳註)、大学書林、1998年、1575円

ルネサンスの芸術家の伝記の対訳(註付き)です。読解能力を向上させたい人に適した一冊です。

東京大学イタリア語教材編集委員会(編) 『Piazza(テキスト+CD3枚)』、東京大学出版会、2004年、3360円

イタリアの幅広い分野に関するテキストのアンソロジーです。文法解説と語彙説明が充実していますので、高度なイタリア語の知識がなくても読むことができます。

武田好 『イタリアオペラを原語で読む カヴァレリア・ルスティカーナ』、小学館、2004年、1890円

オペラの台本の対訳と解説です。歌詞にはカタカナ表記のルビが振られ、朗読CDも付いています。

プッチーニ 『ラ・ボエーム』 小瀬村幸子(訳)、音楽之友社、2006年、1785円

「オペラ対訳ライブラリー」の一冊です。総合芸術のオペラを鑑賞して、楽しみながらイタリア語を学習することができます。

ヴェルディ 『椿姫』 坂本鉄男(訳)、音楽之友社、2004年、1260円

「オペラ対訳ライブラリー」の一冊です。総合芸術のオペラを鑑賞して、楽しみながらイタリア語を学習することができます。